

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	グループホーム北札内ふれあい館1	評価実施年月日	平成20年10月18日
評価実施構成員氏名	高崎理沙 松田祥子 工藤寿美子 平島真寿美 橋本広大 長瀬久生 鈴木絹子 佐藤早苗		
記録者氏名	高崎理沙	記録年月日	平成20年10月20日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
○地域密着型サービスとしての理念 1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	家庭の雰囲気大切に、その人らしく過ごせることを目指した理念を提示している。		
○理念の共有と日々の取組み 2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	理念そのものを暗記するのではなく、その内容を理解するよう指導している。又、その理念を元に関わりを持つようにしている。		
○家族や地域への理念の浸透 3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	入居の際は文書・口頭で説明し、ホームにも提示している。又、見学者・ボランティアにも必ず説明するようにしている。	○	家族はもちろんだが、地域の人達に理解して頂いているのかは分からない。今後はお便りや地域ごとの行事などに参加していき、伝えていきたい。
<b>2. 地域との支えあい</b>			
○隣近所とのつきあい 4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	外で会った際は必ず挨拶をするように努めている。	○	施設という立場から近所に受け入れてもらえることは難しい。これからは気軽に付き合えるような間柄を作れるよう交流をもっていきたい。
○地域とのつきあい 5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内会に参加しており、ゴミ拾いなど努めて協力している。又、夏祭りなど事業所の行事には地域の方々も参加して頂いている。		
○事業者の力を活かした地域貢献 6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	町内の回覧板でホームのお便りを回し、グループホームとはどういうところなのかを分かりやすく紹介している。又、お電話でスタッフがわかる範囲ではあるが相談を受けることもある。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>7 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>自己評価を通して自らの介護についてやホームの在り方を話し合い、外部評価では必ず問題点について改善していくように話し合い・取り組むようにしている。</p>		
<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>8 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>自己評価・外部評価の結果は会議の中で説明を行い、委員・家族からの意見をお聞きしている。これは必ず職員にも伝え、今後の取り組みに繋げている。</p>		
<p>○市町村との連携</p> <p>9 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>地域ケア推進会議への参加や運営委員会への協力など、その都度相談・連絡させて頂いている。</p>		
<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>10 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>管理者研修を設けており、その都度対応できるように学んでいる。又、職員にも少しずつではあるが指導している。</p>	○	職員が学ぶ機会が学ぶ機会が少ないため、今後職員研修などで学んでいきたい。
<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>11 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>身体拘束・虐待防止委員会を立ち上げており、そこで事例などを元に学び・話し合う場を設けている。又、職員にもその結果などを伝え、再度話し合いをしている。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>12 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居の際、必ず家族には契約書を事前に読んで頂き、さらに読み上げている。又、疑問点や不安なことも伝えて頂けるように対応している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>13 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>出来るだけ自らの意見を言えるような対応をするよう心がけている。又、職員に言えない方には家族に協力して頂き、把握・対応出来るように努めている。</p>		
<p>○家族等への報告</p> <p>14 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。</p>	<p>毎月、家族には個人のお便りを配布させて頂いている。又、ホームに来られた際にも必ず利用者様の状態やささいな出来事なども報告させて頂いている。</p>		
<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>15 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>出来るだけ家族からの苦情や意見は話して頂けるように対応している。</p>		
<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>16 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>スタッフ会議やその都度個人の意見などは、一緒に考えながら反映させている。</p>		
<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>17 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>シフトを組む際は必ず職員と話し合い決めるようにしている。利用者様や家族からの要望があった際は、その都度調節できるようにしている。</p>		
<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>18 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>職員の異動があった場合には、普段よりも関わりを多く持つようにし、不安や戸惑いを和らげるような対応に努めている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	管理者研修や職員研修、その他外部の研修にも参加できるよう努めている。又、研修で学んだことはスタッフ会議などで他の職員にも伝え、考える機会を設けている。	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	同会社に複数のグループホームがあるため、その都度情報交換をしている。	○ 他で運営されているグループホームや特養老人施設など、まったく別の環境を体験したり話を聞いたりする場を増やしていけるよう、会社と相談していきたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	職員とより多く交流を持つようにし、気軽に話せる関係作りを目指している。又、ささいな変化にも気づけるように心がけている。	
22	○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	職員それぞれの得意なことを伸ばすようにしている。又、職員の考えや行動を任せることで向上心ややる気を持って働けるように努めている。	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	自宅に訪問し、どのような環境で過ごされていたのか把握したり、慣れた場所で話しを聞けるように対応している。又、ホームにも事前に訪問して頂き、意見や不安を窺う機会も作っている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	何度も連絡を取り、自宅へ訪問させて頂き、話をさせて頂いている。又、ホームでの訪問もして頂き、実際に施設を見てからの不安なども聞くようにしている。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	職員やケアマネと相談し、適切な援助を行えるよう努めている。		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居した時は、まずホームの雰囲気や他利用者様・職員に慣れて頂くことを心がけながら対応するようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	出来るだけ一緒に過ごす時間をもち、利用者様の得意なことを共に行ったりしている。又、会話を通じて昔ながらのことを教えていただいたり、逆に今のことを職員から教えたりと互いによい関係作りを築けるよう対応している。		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	個人のお便りや面会の際、話しあう機会を作っている。しかし、家族の中には仕事などの都合でなかなか面会に来られない方もおり、すべての家族にできているとはいえない。	○	出来るだけ利用者様のことで問題が上がった際は、お電話を差し上げて意見をお伺いしたりしている。又、ホームへの訪問を促し、話ができる場を作るようにしている。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	家族が、話せる範囲の関係は把握している。又、家族が気軽に面会出来るような雰囲気作りや共に過ごせる行事などを行っている。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	今まで使用していた美容室などは、利用者様の希望に合わせて使わせてもらっている。昔ながらの友人などの面会も気軽にできるようにしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	仲の良い利用者様同士は食事の席を考慮したり、ゆっくりと話せる場を作っている。又、交流の持てない方にも職員が間に入るなど援助している。		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	他施設に転居された方には職員が遊びに行ったり、例え退居されていたとしても葬式などは出席するようにしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入浴や食事、買い物など本人の希望に合わせた支援をしている。又、自ら言葉に出来ない方にも反応をみながら対応している。	○	自ら言葉にするのが難しい方には職員から選択肢を出すなど、選ぶことを可能にできるよう対応に工夫をしている。
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居の際には必ず家族や関わりのあったヘルパーなどから情報を得るようにしている。又、入居後も利用者様との会話や家族から得た情報をその都度職員同士で把握し合い、反映させている。		
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	個人記録や申し送り、職員同士での情報交換からその日の勤務者だけではなく、他の職員も把握できるよう努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	スタッフ会議を利用しカンファレンスを行い、一人一人のケアについてケアマネと話し合い作成している。又、医師や家族にも相談するように、協力を頂いている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	担当の職員が見直しをした中から職員で話し合い、それを元にケアマネと話し合いを設けている。又、家族の意見も取り入れるように努めている。		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個人記録に一人一人の利用者様の様子や気付いたことを記入しており、それを元に見直しを行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	外出や他機関の連絡など利用者様や家族からの相談に応じて支援させて頂いている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	現時点では利用者様や家族からの要望がないため行ってはいない。	○	要望があった場合に備え、協力して頂けるように各機関とはこれまで以上に交流を持っていきたい。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	現在、対象者がいないため行ってない。	○	今後、必要になれば協力して頂けるよう交流を深めていきたい。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	情報や相談など協力して頂けている。		



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>43 ○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居時には必ずかかりつけの病院をお聞きし、継続して通えるように対応している。又、病院が変わる際も利用者様や家族には相談させて頂いている。</p>		
<p>44 ○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>その方に合った専門医に相談させて頂いており、その都度対応や利用者様の状態について情報を伝え相談している。</p>		
<p>45 ○看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>週に2回事業所の看護師が訪問している。又、状況に応じて相談・指導を受けている。</p>		
<p>46 ○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>お見舞いに訪問した際は必ず現時点の利用者様の症状を伺うようにしている。又、変化があった場合にはホームにも連絡を頂けるように対応している。</p>	○	<p>プライバシーのためとホームの職員には情報が伝えられないこともある。その時は家族に協力して頂くようにしている。</p>
<p>47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>入居時にホームでの対応については説明させて頂いている。又、早い段階から家族や医療機関と相談し、経過後について対応させて頂いている。</p>		
<p>48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>ホームでの出来る限りの対応を踏まえた上で、医療機関と話し合いを設け支援している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>利用者様の状態はもちろん性格なども情報として提供し、できる限りの対応をさせて頂いている。</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>それぞれ職員が気をつけながら対応している。</p>	○	<p>言葉遣いに関しては職員同士、話し合っている。又、気持ちに余裕が持てるように職員同士で声を掛け合ったり、つい出てしまった言葉にはフォローをし合うなど協力して努めている。</p>
<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>利用者様が自己決定できるような言葉がけをするよう日々努めている。又、その方それぞれに合わせた働きかけを行っている。</p>		
<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>利用者様の希望に添えるよう対応している。又、時間や清潔面などどうしても不可能な場合は、きちんと理由をお話し納得して頂けるよう対応している。</p>	○	<p>他のホームと共同で車を使用しているため、買い物など利用者様に合わせられない場合がある。今後、会社と相談していきたい。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>馴染みの美容室を利用したり、外出時には服装に気を遣うようにしている。又、自ら決定できる方には職員がサポートさせて頂いている。</p>		
<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>それぞれ利用者様には役割があり、みなさん自主的に片づけを行って下さっている。又、利用者様の体調に合わせてながら準備や調理にも関わって頂いている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	疾病など考慮しながら買い物や外食など対応している。又、個人の居室に冷蔵庫を設置している方もいる。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの方や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	介助が必要な方は排泄のパターンを把握するなど、可能な限りトイレでの排泄を大切にしている。	○	車いすを使用し、ほとんど介助がなければトイレへ移動できない方も二人介助にすることで可能にしている。そのため、排便を促す効果にもつながっているように思える。
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	本人の希望に沿って支援している。又、当ホームには温泉もついており、その都度選んで頂くように配慮している。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	眠れない方には職員がお話するなど、安心して頂けるよう心がけている。又、不眠ぎみな方には日中に活動する場を作るなど配慮している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	それぞれ利用者様同士で決まった役割がある。又、塗り絵や畑仕事など本人の趣味に合わせ援助している。		
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	管理できる方には出来るだけ自らで所持して頂いている。又、管理させて頂いている方にもその都度、本人が自由に使えるお金があるということを伝えるようにしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○日常的な外出支援</p> <p>61 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。</p>	<p>天気の良い日は近くを散歩したり、歩いて買い物に行ったりと対応している。</p>	○	<p>本人の希望で車を使用しなくてはならないとき、共同で使用しているため不可能な場合がある。今後、改善出来るように相談していきたい。</p>
<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>62 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。</p>	<p>行事を利用し、外食や遠出を実施している。又、身体的に可能な方にはその都度相談し、希望に添えるよう心がけている。</p>		
<p>○電話や手紙の支援</p> <p>63 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>自由に使用して頂けている。又、自ら使用するのが困難な方には職員が対応させて頂いている。</p>		
<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>64 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	<p>来訪の際は挨拶を大切に。積極的に交流することで気軽に来て頂ける雰囲気作りを心がけている。又、居室やリビングを自由に使用して頂き、利用者様とゆっくり過ごして頂く時間も大切にしている。</p>		
(4)安心と安全を支える支援			
<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>65 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>その都度、職員で話し合いを持ち身体拘束をしないケアに努めている。又、できる限り職員には身体拘束について指導している。</p>	○	<p>更に研修や勉強会などに参加していき、職員の意識を高めていきたい。</p>
<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>66 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職員それぞれが利用者様の姿を把握するようにし、一人で外出されてしまいそうな時はその都度対応している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○利用者の安全確認</p> <p>67 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>職員はそれぞれが利用者様の姿を把握するようにし、互いに声を掛け合うように心がけている。</p>		
<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>68 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>利用者様の状態によって預からせて頂いたり、職員が見守るよう対応している。</p>		
<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>69 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>居室を出来るだけ訪室したり、掃除などの際には観察するようにしている。又、煙草など危険が生じる場合は、きちんとした場所で使用して頂くようお話をさせて頂いている。</p>		
<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>70 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	<p>消防署の協力を得て、救急救命の講習を受けたり、マニュアルを作成し、職員は目を通すようにしている。又、職員会議などで学ぶ機会を増やしている。</p>		
<p>○災害対策</p> <p>71 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>	<p>利用者様も参加し避難訓練を行ったりしている。又、地域の方にも参加して頂けるように声をかけている。</p>		
<p>○リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>72 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。</p>	<p>それぞれの家族に現時点で起こるかもしれないリスクについては説明させて頂いている。その中でも危険が大きいと判断した場合は家族も交え話し合うようにしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎朝のBTチェックや更衣・入浴の際の観察などから、早い発見を心がけている。又、その情報は職員同士で交換し合っている。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の説明は一人一人ファイルしており、いつでも確認できるようにしている。又、薬に変更があった場合はその内容や副作用など把握するように確認し合っている。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	毎日のラジオ体操や散歩、牛乳や豆乳などで便秘予防を心がけている。又、便秘がちな方は下剤の調節やトイレでの排泄をするようにしている。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	その方に応じて見守りから介助まで行っている。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎食摂取量は記録に残しており、食事ですり足りない分はおやつやその他間食で補うようにしている。		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	食事前の手の消毒(利用者様も含め)や来客者の手の消毒、外出後の手洗いうがいは職員も共に行うようにしている。又、汚物についても新聞紙で包んだり、便の場合は袋に密封して処理するなど、感染予防には心がけている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○食材の管理</p> <p>79 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>まな板やふきんなどは漂白したり、食材についても注意するよう心がけている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり</p>			
<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>80 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>玄関には花を設置したり傍に花壇も作り、明るい雰囲気を務めている。</p>		
<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>81 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節の花を飾ったり皆さんで行った行事の写真を貼ったりと家庭的で温かな雰囲気を心がけている。</p>		
<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>82 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>食卓、リビング、畳の小上がりなど自由に使用して頂いている。</p>		
<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>83 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居の際に日頃使い慣れた家具などを持ってきてもらうようにしている。又、箸やコップなど本人の使用したいものを使用してもらっている。</p>		
<p>○換気・空調の配慮</p> <p>84 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>ホーム内や各部屋に必要なに応じて芳香剤を使用したり、こまめに換気を行っている。又、冬には乾燥を防ぐために加湿器を使用している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>85 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>設備はあるものの現在の利用者様に適しているとはいえない。</p>	<p>○</p>	<p>家族に協力を得ているが限界がある。今後、会社と相談していきたい。</p>
<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>86 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>持ち物に名前を書いたり介助は最小限にし、可能な限り利用者様の力で行って頂くように対応している。</p>		
<p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>87 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>ホームの庭にパークゴルフ場があったり、畑を作る場所もあり、各々で楽しめるようになっている。</p>		



V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています ①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
96	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている</p> <p>①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない</p>
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

利用者様は、お金の限り自由に生活して頂きたい。可能な限り自らの力で物事を行って頂くよう支援している。